

授業科目	C言語Ⅱ【前期】			単位／時間	62時間	
開講学科等	情報システム学科2年			担当教員	篠原 章彦	
授業の目的・テーマ	C言語の文法を段階的に学習する実習プログラムを作成・実行し、実践で文法を理解する。また、機能を段階的に追加するプログラムを作成し、実践的なプログラム作成を経験する。					
授業の到達目標	配列、ポインタ、関数呼び出し、構造体、ファイル処理を理解し、これらの機能を用いたプログラムを作成できる。					
授業の計画	1	4h	演習5－3（do-while）演習5－3解説	26		
	2	3h	バッファリング説明 演習5－4（switch）	27		
	3	3h	演習5－4（switch）	28		
	4	3h	演習5－4解説 演習5－5（無限ループ、continue）	29		
	5	3h	演習5－5解説 演習6－1（一次元配列）	30		
	6	3h	演習6－1（一次元配列）	31		
	7	3h	演習6－1解説 演習6－2（二次元配列）	32		
	8	3h	演習6－2解説 演習6－3（文字列）	33		
	9	3h	演習6－3（文字列）	34		
	10	3h	演習6－3解説 演習6－4（複数文字列）	35		
	11	3h	演習6－4（複数文字列）	36		
	12	4h	演習6－4解説 ポインタ復習	37		
	13	3h	演習8－1（ポインタ）	38		
	14	3h	演習8－1解説	39		
	15	3h	演習8－2（ポインタ演算）	40		
	16	4h	演習8－2（ポインタ演算）演習8－2解説	41		
	17	4h	演習8－3（ポインタ 二次元配列）	42		
	18	3h	演習8－3（ポインタ 二次元配列）	43		
	19	4h	演習8－3（ポインタ 二次元配列）演習8－3解説	44		
	20			45		
	21			46		
	22			47		
	23			48		
	24			49		
	25			50		
授業の方法	演習					
テキスト	1年次配布 自作テキスト					
参考文献	なし					
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、全体で判断する。 1. 授業態度（20％） 2. 授業進捗（20％） 3. 期末テストまたは課題提出（60％）					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					○	
実務経験	金融機関等のシステム設計・開発・保守の経験を有する。					
実務経験の活かし方	プログラムの効率性、保守性、デバッグ方法や命名規則などについて教え、プログラムの基礎知識を身に付ける。					
履修上の注意事項	動くだけではなく、分かりやすいプログラムを書くこと。					

授業科目	C言語Ⅱ【後期】			単位／時間		102時間
開講学科等	情報システム学科2年			担当教員		篠原 章彦
授業の目的・テーマ	C言語の文法を段階的に学習する実習プログラムを作成・実行し、実践で文法を理解する。また、機能を段階的に追加するプログラムを作成し、実践的なプログラム作成を経験する。					
授業の到達目標	配列、ポインタ、関数呼び出し、構造体、ファイル処理を理解し、これらの機能を用いたプログラムを作成できる。					
授業の計画	1	4h	後期説明 演習8－4（ポインタ 文字列）	26	2h	課題8（リスト追加・修正）課題8解説
	2	4h	演習8－4（ポインタ 文字列）演習8－4解説	27	3h	課題9（リスト追加・修正・削除）
	3	4h	演習8－5（ポインタ配列）	28	4h	課題9（リスト追加・修正・削除）
	4	4h	演習8－5解説 演習10－1（構造体）	29	3h	課題9解説 復習
	5	4h	演習10－1解説 演習10－2（構造体配列）	30	3h	追加課題1
	6	3h	演習10－2解説 演習11（記憶域）	31	3h	追加課題2
	7	3h	演習11（記憶域）演習11解説	32	3h	追加課題3
	8	3h	演習12（プリプロセッサ）	33		
	9	3h	演習12解説 演習13（ファイル）	34		
	10	3h	演習13（ファイル）演習13解説	35		
	11	4h	総合演習説明 課題1（基本処理）	36		
	12	3h	課題1（基本処理）	37		
	13	3h	課題1解説 課題2（文字列長チェック）	38		
	14	3h	課題2解説 課題3（フリガナ追加）	39		
	15	3h	課題3（フリガナ追加）	40		
	16	3h	課題3解説 課題4（整列）	41		
	17	3h	課題4（整列）課題4解説 課題5（ファイル処理）	42		
	18	3h	課題5（ファイル処理） 課題5解説	43		
	19	3h	課題6（リスト処理）	44		
	20	3h	課題6（リスト処理）	45		
	21	3h	課題6（リスト処理）課題6解説	46		
	22	3h	課題7（リスト追加）	47		
	23	3h	課題7（リスト追加）	48		
	24	3h	課題7（リスト追加）課題7解説	49		
	25	3h	課題8（リスト追加・修正）	50		
授業の方法	演習					
テキスト	1年次配布 自作テキスト					
参考文献	なし					
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、全体で判断する。 1. 授業態度（20％） 2. 授業進捗（20％） 3. 期末テストまたは課題提出（60％）					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する						○
実務経験	金融機関等のシステム設計・開発・保守の経験を有する。					
実務経験の活かし方	プログラムの効率性、保守性、デバッグ方法や命名規則などについて教え、プログラマの基礎知識を身に付ける。					
履修上の注意事項	動くだけではなく、分かりやすいプログラムを書くこと。					

授業科目	Windows利用技術Ⅱ			単位／時間	60時間	
開講学科等	情報システム学科 2 年			担当教員	植田 祥平	
授業の目的・テーマ	Windows11の操作方法と P C の内部構造を理解させる。					
授業の到達目標	I T 系技術者として、Windows11の操作と用途に応じた設定変更ができる。					
授業の計画	1	3h	Windowsの基礎知識	26		
	2	3h	Windowsの基礎知識	27		
	3	3h	Windowsの基礎知識	28		
	4	3h	Windows11の基本操作と応用	29		
	5	3h	Windows11の環境設定	30		
	6	3h	ユーザアカウントの作成・削除・設定	31		
	7	3h	ショートカットキーの操作	32		
	8	3h	ショートカットキーの操作	33		
	9	3h	ショートカットキーの応用	34		
	10	3h	プリンター・各種設定	35		
	11	3h	WindowsPCの組み立て	36		
	12	3h	WindowsPCの組み立て	37		
	13	3h	トラブル症状確認・対応 ネットワーク設定	38		
	14	3h	トラブル症状確認・対応 ネットワーク設定	39		
	15	3h	トラブル症状確認・対応 ネットワーク設定	40		
	16	3h	デバイスドライバのインストール	41		
	17	3h	ソフトウェアのインストール、WindowsとOffice系ソフトウェアのショートカット	42		
	18	3h	パッチファイル作成	43		
	19	3h	ビジネスメール作成 ロールプレイング	44		
	20	3h	ビジネスメール作成 ロールプレイング	45		
	21			46		
	22			47		
	23			48		
	24			49		
	25			50		
授業の方法	講義・演習					
テキスト	なし					
参考文献	パソコン利用技術関連のWebサイト・自作資料など					
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 出席率 2. 授業態度 3. 授業内課題					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					○	
実務経験	銀行システムのシステム運用・保守にて、障害やシステムアップデートに伴う運用方針変更など臨機応変に業務に従事。直接お客様と折衝しPC上で発生している不具合を解決する。					
実務経験の活かし方	実際に実機を交えながら、実例を用いて理解を促す。					
履修上の注意事項	口頭での説明が多くなるため、メモを取ることが重要である。					

授業科目		データベースⅡ		単位／時間		45時間	
開講学科等		情報システム学科2年		担当教員		橋本 貴之	
授業の目的 ・テーマ		Microsoft Access(2021,Microsoft365)の基本的な使い方や、実務に応用できる機能を学習する。					
授業の 到達目標		Accessの以下の操作ができること ・テーブル作成（インポート含む） ・クエリ、フォームの作成					
授業 の 計 画	1	3h	【基礎】第1章、第2章	26			
	2	2h	【基礎】第3章、第4章	27			
	3	2h	【基礎】第5章	28			
	4	2h	【基礎】第6章	29			
	5	2h	【基礎】第7章	30			
	6	2h	【基礎】第8章	31			
	7	2h	【基礎】第9章	32			
	8	3h	【基礎】総合問題	33			
	9	3h	【応用】第1章、第2章	34			
	10	3h	【応用】第3章、第4章	35			
	11	3h	【応用】第5章	36			
	12	3h	【応用】第6章、第7章	37			
	13	3h	【応用】第8章、第9章	38			
	14	3h	【応用】第10章、第11章	39			
	15	3h	【応用】総合問題	40			
	16	3h	小テスト1	41			
	17	3h	小テスト2	42			
	18			43			
	19			44			
	20			45			
	21			46			
	22			47			
	23			48			
	24			49			
	25			50			
授業の方法		演習					
テキスト		よくわかるAccess2021基礎、よくわかるAccess2021応用					
参考文献		なし					
評価の方法 や基準		以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1.出席率 2.授業態度 3.授業内課題					
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する						○	
実務経験		システムエンジニアとして、防衛・自治体関連のシステム開発に従事。					
実務経験の 活かし方		実業務の中でのデータベースの活用例を実例を交えて説明する。					
履修上の 注意事項		復習を行うこと。またエラー解決などは、積極的に自己解決の努力をすること。					

授業科目	パソコン演習Ⅱ	時間(総時間)	57時間
開講学科等	情報システム学科2年	担当教員	西 次郎
授業の目的 ・テーマ	W o r d 2 0 2 1 の基本的な操作方法と応用方法を習得する。		
授業の 到達目標	サーティファイWord文書処理技能認定試験3級に合格できるレベルの技術の習得を目指す。		
授 業 の 計 画	1	授業説明・ソフトウェアの説明	26 総合問題⑥
	2	Word2021の基礎（操作方法の理解）	27 //
	3	文字の入力（タイピングの基礎）	28 総合問題⑦
	4	文書の作成（文書作成の基礎）	29 //
	5	//	30 総合問題⑧
	6	//	31 //
	7	表の作成（表の作成方法と応用）	32 総合問題⑨
	8	//	33 //
	9	//	34 総合問題⑩
	10	文書の編集（文書作成の応用と機能の理解）	35 //
	11	//	36 Word文書処理技能認定試験3級問題集
	12	//	37 //
	13	表現力をアップする機能（機能の理解）	38 //
	14	//	39 //
	15	//	40 //
	16	総合問題①	41 //
	17	//	42 //
	18	総合問題②	43 //
	19	//	44 //
	20	総合問題③	45 //
	21	//	46 //
	22	総合問題④	47 //
	23	//	48 //
	24	総合問題⑤	49 //
	25	//	50 //
授業の方法	パソコンを使用した実習		
テキスト/参考文献	FOM出版「よくわかる マイクロソフト ワード2021（基礎）」 サーティファイ「W o r d 文書処理技能認定試験3級問題集」		
評価の方法 や基準	提出課題、授業態度、出席率		
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	○		
実務経験	運輸系、金融系企業でのシステム管理及び顧客サポート業務、営業事務、一般事務。 （業務に関する仕様書作成や顧客会社との契約書作成、資料作成）		
実務経験の 活かし方	上記の経験をもとに、一般ビジネス業務における書類作成や資料作成に必要なソフトウェア知識と、 文書作成方法の指導をおこなう。		
履修上の 注意事項	文章や数字入力のタイピングスキル向上のため、授業時間以外での練習も心掛けること。		

授業科目	パソコン演習Ⅱ	時間(総時間)	57時間
開講学科等	情報システム学科2年	担当教員	西 次郎
授業の目的 ・テーマ	W o r d 2 0 2 1 の基本的な操作方法と応用方法を習得する。		
授業の 到達目標	サーティファイWord文書処理技能認定試験3級に合格できるレベルの技術の習得を目指す。		
授 業 の 計 画	51	Word文書処理技能認定試験3級問題集	
	52	〃	
	53	〃	
	54	〃	
	55	〃	
	56	〃	
	57	期末課題作成	
授業の方法	パソコンを使用した実習		
テキスト/参考文献	FOM出版「よくわかる マイクロソフト ワード2021（基礎）」 サーティファイ「Word文書処理技能認定試験3級問題集」		
評価の方法 や基準	提出課題、授業態度、出席率		
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する			○
実務経験	運輸系、金融系企業でのシステム管理及び顧客サポート業務、営業事務、一般事務。 (業務に関する仕様書作成や顧客会社との契約書作成、資料作成)		
実務経験の 活かし方	上記の経験をもとに、一般ビジネス業務における書類作成や資料作成に必要なソフトウェア知識と、 文書作成方法の指導をおこなう。		
履修上の 注意事項	文章や数字入力のタイピングスキル向上のため、授業時間以外での練習も心掛けること。		

授業科目		コミュニケーション		単位／時間		27時間	
開講学科等		情報システム学科 2 年		担当教員		篠原 章彦	
授業の目的 ・テーマ		社会人として仕事をしていく上で必要なコミュニケーションスキルを身に付けさせる					
授業の 到達目標		以下のコミュニケーションスキルを身に付けさせる ・自身の考えや自身が持っている情報を正確に相手に伝えることができる。 ・相手の考えや相手が持っている情報を正確に聞き取ることができる					
授業の 計画	1	3h	ワークショップ（課題解決）	26			
	2	3h	ワークショップ（集団内主張）	27			
	3	3h	ワークショップ（課題解決）	28			
	4	3h	ワークショップ（集団内主張）	29			
	5	3h	ワークショップ（課題解決）	30			
	6	3h	ワークショップ（集団内主張）	31			
	7	3h	ワークショップ（課題解決）	32			
	8	3h	ワークショップ（集団内主張）	33			
	9	3h	ワークショップ（課題解決）	34			
	10			35			
	11			36			
	12			37			
	13			38			
	14			39			
	15			40			
	16			41			
	17			42			
	18			43			
	19			44			
	20			45			
	21			46			
	22			47			
	23			48			
	24			49			
	25			50			
授業の方法		ワークショップ（グループ討議）					
テキスト		なし					
参考文献		ウイネット プレゼンテーション技法、プレゼンテーション技法（指導のてびき）					
評価の方法 や基準		以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 出席率 2. 授業態度					
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する						○	
実務経験		I T 企業でシステムエンジニアとしてシステム設計・構築を担当					
実務経験の 活かし方		実業務の中でのコミュニケーションの重要性を実例を交えて説明する。					
履修上の 注意事項		グループ討論であるため積極的に参加すること					

授業科目		パソコン演習応用		単位／時間		21時間	
開講学科等		情報システム学科 2 年		担当教員		橋本 貴之	
授業の目的・テーマ		様々なビジネスシーンに合わせた文書を作成し、実務で活用できるよう指導する。					
授業の到達目標		基本的なビジネス文書の種類、内容を理解し、実務で活用できるようになる。					
授業の計画	1	3h	請求書 作成	26			
	2	3h	見積書 作成	27			
	3	3h	図の作成（パソコン室）	28			
	4	3h	マニュアルの作成	29			
	5	3h	新製品発表会案内	30			
	6	3h	商品発送遅延に対するお詫び	31			
	7	3h	小テスト結果入力分析表	32			
	8			33			
	9			34			
	10			35			
	11			36			
	12			37			
	13			38			
	14			39			
	15			40			
	16			41			
	17			42			
	18			43			
	19			44			
	20			45			
	21			46			
	22			47			
	23			48			
	24			49			
	25			50			
授業の方法		実技を中心に行う。					
テキスト		オリジナルテキスト					
参考文献		－					
評価の方法や基準		以下の内容を個別に評価した後、総合的に判断し最終評価をつける。 1. 出席率 2. 授業態度 3. 課題					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する						○	
実務経験		システムエンジニアとして、防衛・自治体関連のシステム開発に従事。					
実務経験の活かし方		実例を用いて理解させる。					
履修上の注意事項		授業中に理解ができなかった内容は、質問などをし次回の授業までに解決すること。					

授業科目	プレゼンテーションⅡ			単位／時間	61時間
開講学科等	情報システム学科 2 年			担当教員	植田 祥平
授業の目的 ・テーマ	PowerPointを使用して、相手に自身を伝えることの重要性を学ぶ				
授業の 到達目標	以下のコミュニケーションスキルを身に付けさせる ・自身の意志を分かり易くPowerPointの資料にまとめることができる。 ・作成したPowerPointの資料を使用し、相手に分かり易く説明することができる。				
授業 の 計 画	1	3h	オリエンテーション (授業の進め方、グループ分け)	26	
	2	7h	課題作成（高知県の課題を解決するアイデア）	27	
	3	7h	課題作成（高知県の課題を解決するアイデア）	28	
	4	7h	課題作成（高知県の課題を解決するアイデア）	29	
	5	8h	課題発表・振り返り（高知県の課題を解決するアイデア）	30	
	6	7h	課題作成（日本の課題を解決するアイデア）	31	
	7	7h	課題作成（日本の課題を解決するアイデア）	32	
	8	7h	課題作成（日本の課題を解決するアイデア）	33	
	9	8h	課題発表・振り返り（日本の課題を解決するアイデア）	34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	グループでのPowerPoint資料作成と発表				
テキスト	なし				
参考文献	なし				
評価の方法 や基準	出席率、授業態度				
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					○
実務経験	ヘルプデスクとしてお客様が困っていることをヒアリング・解決まで懇切丁寧に対応				
実務経験の 活かし方	実業務における客先説明の実例を交えて説明する。				
履修上の 注意事項	グループ作業であるため、教員からのアドバイスは控え、学生の積極的な作業態度を重視する。				

授業科目		国家試験対策(応用情報 春期 マネジメント)		単位／時間		26時間	
開講学科等		情報システム学科 2 年		担当教員		中川 隆	
授業の目的・テーマ		応用情報技術者試験にて出題されるマネジメントの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。					
授業の到達目標		応用情報技術者試験合格を目標とする。					
授業の計画	1	2h	システム監査概要解説	26			
	2	6h	練習問題（午前問題）	27			
	3	6h	練習問題（プロジェクトマネジメント）	28			
	4	6h	練習問題（ITサービスマネジメント）	29			
	5	6h	練習問題（監査）	30			
	6			31			
	7			32			
	8			33			
	9			34			
	10			35			
	11			36			
	12			37			
	13			38			
	14			39			
	15			40			
	16			41			
	17			42			
	18			43			
	19			44			
	20			45			
	21			46			
	22			47			
	23			48			
	24			49			
	25			50			
授業の方法		講義・練習問題実施及び解説					
テキスト		応用情報技術者合格教本【技術評論社】					
参考文献		応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他					
評価の方法や基準		以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する							
実務経験							
実務経験の活かし方							
履修上の注意事項		理解を深めるために復習を行うこと。					

授業科目	国家試験対策(応用情報 春期 ストラテジ)			単位／時間	22時間
開講学科等	情報システム学科 2 年			担当教員	濱渦 昇
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題されるストラテジの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	1h	キャッシュフロー・財務指標	26	
	2	6h	練習問題（午前問題）	27	
	3	15h	練習問題（経営戦略）	28	
	4			29	
	5			30	
	6			31	
	7			32	
	8			33	
	9			34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 春期 コンピュータシステム・アーキテクチャ)			単位／時間	37時間
開講学科等	情報システム学科 2 年			担当教員	橋本 貴之
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題されるコンピュータシステム・アーキテクチャの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	2h	練習問題実施・解説 1	26	
	2	2h	練習問題実施・解説 2	27	
	3	2h	練習問題実施・解説 3	28	
	4	2h	練習問題実施・解説 4	29	
	5	2h	練習問題実施・解説 5	30	
	6	2h	練習問題実施・解説 6	31	
	7	2h	練習問題実施・解説 7	32	
	8	2h	練習問題実施・解説 8	33	
	9	2h	過去問題実施・解説 1	34	
	10	3h	過去問題実施・解説 2	35	
	11	3h	過去問題実施・解説 3	36	
	12	3h	過去問題実施・解説 4	37	
	13	3h	過去問題実施・解説 5	38	
	14	3h	過去問題実施・解説 6	39	
	15	2h	過去問題実施・解説 7	40	
	16	2h	過去問題実施・解説 8	41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 春期 情報システム開発)			単位／時間	24時間
開講学科等	情報システム学科 2 年			担当教員	川久保 あゆみ
授業の目的 ・テーマ	応用情報技術者試験にて出題される情報システム開発の分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の 到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授 業 の 計 画	1	3h	過去問題実施・解説 1	26	
	2	3h	過去問題実施・解説 2	27	
	3	3h	過去問題実施・解説 3	28	
	4	3h	過去問題実施・解説 4	29	
	5	3h	過去問題実施・解説 5	30	
	6	3h	過去問題実施・解説 6	31	
	7	3h	過去問題実施・解説 7	32	
	8	3h	過去問題実施・解説 8	33	
	9			34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法 や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の 活かし方					
履修上の 注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 春期 組込みシステム開発)			単位／時間	15時間
開講学科等	情報システム学科 2 年			担当教員	橋本 貴之
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題される組込みシステム開発の分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	3h	専門用語解説	26	
	2	2h	過去問題実施・解説 1	27	
	3	2h	過去問題実施・解説 2	28	
	4	2h	過去問題実施・解説 3	29	
	5	2h	過去問題実施・解説 4	30	
	6	2h	過去問題実施・解説 5	31	
	7	2h	過去問題実施・解説 6	32	
	8			33	
	9			34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 春期 データベース)			単位／時間	30時間
開講学科等	情報システム学科 2 年			担当教員	川村 剛久
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題されるデータベースの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	1h	データベースの基礎	26	
	2	2h	正規化（復習）、非正規化	27	
	3	2h	関係データベースの演算	28	
	4	2h	SELECT文（復習）	29	
	5	2h	CREATE TABLE文	30	
	6	1h	ビューの定義、トリガ	31	
	7	2h	オブジェクトの処理権限	32	
	8	2h	トランザクション制御	33	
	9	2h	DBMSの障害回復管理	34	
	10	2h	分散データベース	35	
	11	2h	データウェアハウス、データマイニング	36	
	12	2h	応用情報過去問題・解説 1	37	
	13	2h	応用情報過去問題・解説 2	38	
	14	2h	応用情報過去問題・解説 3	39	
	15	2h	応用情報過去問題・解説 4	40	
	16	2h	応用情報過去問題・解説 5	41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験過去問問題 情報処理教科書データベーススペシャリスト他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 春期 アルゴリズム)			単位／時間	40時間
開講学科等	情報システム学科 2 年			担当教員	中川 隆
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題されるアルゴリズムの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	2h	練習問題実施・解説 1	26	
	2	2h	練習問題実施・解説 2	27	
	3	2h	練習問題実施・解説 3	28	
	4	2h	配列処理(文字列) 1	29	
	5	2h	配列処理(文字列) 2	30	
	6	3h	データ構造 1	31	
	7	3h	データ構造 2	32	
	8	2h	データ構造 3	33	
	9	3h	木構造 1	34	
	10	3h	木構造 2	35	
	11	1h	木構造 3	36	
	12	1h	探索処理	37	
	13	2h	ハッシュ法 1	38	
	14	2h	ハッシュ法 2	39	
	15	2h	整列処理 1	40	
	16	2h	応用整列処理 1	41	
	17	2h	応用整列処理 2	42	
	18	2h	応用整列処理 3	43	
	19	2h	応用整列処理 4	44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 春期 ネットワーク・情報セキュリティ)			単位／時間	37時間
開講学科等	情報システム学科 2年			担当教員	濱渦 昇
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題されるネットワーク・情報セキュリティの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	2h	OSI基本参照モデル・TCP/IPプロトコルスイート	26	
	2	2h	L3SW・ルーティング IP	27	
	3	3h	LAN (IEEE802) L2SW・MAC	28	
	4	2h	HTTP DNS HDCP	29	
	5	2h	SMTP POP IMAP	30	
	6	2h	暗号化 (AES RSA)	31	
	7	2h	デジタル署名 (TLS) PKI	32	
	8	3h	認証方式	33	
	9	3h	ウイルス対策・攻撃手法の種類と対策	34	
	10	2h	本試験過去問題実施・解説 1	35	
	11	2h	本試験過去問題実施・解説 2	36	
	12	2h	本試験過去問題実施・解説 3	37	
	13	2h	本試験過去問題実施・解説 4	38	
	14	2h	本試験過去問題実施・解説 5	39	
	15	2h	本試験過去問題実施・解説 6	40	
	16	2h	本試験過去問題実施・解説 7	41	
	17	2h	本試験過去問題実施・解説 8	42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 春期 模擬試験)			単位／時間	28時間
開講学科等	情報システム学科 2 年			担当教員	川村 剛久
授業の目的 ・テーマ	応用情報技術者試験本試相当レベルの問題を解き、各問題に対する解答時間の配分や、現時点での各分野における理解度を確認する。				
授業の 到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授 業 の 計 画	1	7h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 1	26	
	2	7h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 2	27	
	3	7h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 3	28	
	4	7h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 4	29	
	5			30	
	6			31	
	7			32	
	8			33	
	9			34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	模擬試験 実施・自己採点及び確認				
テキスト	無し				
参考文献	無し				
評価の方法 や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の 活かし方					
履修上の 注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(基本情報 春期 情報セキュリティ)			単位／時間	29時間
開講学科等	情報システム学科 2 年			担当教員	濱渦 昇
授業の目的・テーマ	基本情報技術者試験にて出題される情報セキュリティ分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	基本情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	2h	OSI基本参照モデル・TCP/IP・LAN間接続装置	26	
	2	3h	IPアドレス、プロトコル、FW	27	
	3	3h	暗号化とデジタル署名	28	
	4	3h	マルウェア	29	
	5	3h	練習問題実施・解説 1	30	
	6	3h	練習問題実施・解説 2	31	
	7	3h	練習問題実施・解説 3	32	
	8	3h	練習問題実施・解説 4	33	
	9	3h	練習問題実施・解説 5	34	
	10	3h	練習問題実施・解説 6	35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	なし				
参考文献	基本情報技術者試験対策テキストⅡ システムの利用と開発編 基本情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(基本情報 春期 アルゴリズム)			単位／時間	65時間
開講学科等	情報システム学科 2 年			担当教員	森下 浩二
授業の目的・テーマ	基本情報技術者試験にて出題されるアルゴリズムの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	基本情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	3h	探索処理	26	
	2	4h	整列処理	27	
	3	4h	文字列操作処理	28	
	4	2h	データ構造 1	29	
	5	2h	データ構造 2	30	
	6	2h	データ構造 3	31	
	7	3h	ハッシュ法	32	
	8	3h	再帰呼び出し	33	
	9	3h	応用整列処理 1	34	
	10	3h	応用整列処理 2	35	
	11	3h	練習問題実施・解説 1	36	
	12	3h	練習問題実施・解説 2	37	
	13	3h	練習問題実施・解説 3	38	
	14	3h	練習問題実施・解説 4	39	
	15	3h	練習問題実施・解説 5	40	
	16	3h	練習問題実施・解説 6	41	
	17	3h	練習問題実施・解説 7	42	
	18	3h	練習問題実施・解説 8	43	
	19	3h	練習問題実施・解説 9	44	
	20	3h	練習問題実施・解説 10	45	
	21	3h	練習問題実施・解説 11	46	
	22	3h	練習問題実施・解説 12	47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	無し				
参考文献	基本情報技術者試験対策テキストⅣアルゴリズム編【TAC】 基本情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(基本情報 春期 オブジェクト指向)			単位／時間	20時間
開講学科等	情報システム学科 2 年			担当教員	内藤 正勝
授業の目的・テーマ	基本情報技術者試験にて出題されるC言語の分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	基本情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	1h	オブジェクト指向、オブジェクトとクラス	26	
	2	1h	プログラミングの基本	27	
	3	1h	オブジェクト配列、メンバ変数	28	
	4	1h	複数の数値データ属性をもつクラス	29	
	5	1h	データ構造の表現	30	
	6	1h	文字列操作のクラス	31	
	7	1h	練習問題実施・解説 1	32	
	8	1h	練習問題実施・解説 2	33	
	9	1h	練習問題実施・解説 3	34	
	10	1h	練習問題実施・解説 4	35	
	11	1h	練習問題実施・解説 5	36	
	12	1h	練習問題実施・解説 6	37	
	13	1h	練習問題実施・解説 7	38	
	14	1h	練習問題実施・解説 8	39	
	15	1h	練習問題実施・解説 9	40	
	16	1h	練習問題実施・解説 10	41	
	17	1h	練習問題実施・解説 11	42	
	18	1h	練習問題実施・解説 12	43	
	19	1h	練習問題実施・解説 13	44	
	20	1h	練習問題実施・解説 14	45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	なし				
参考文献	基本情報技術者試験対策テキストV プログラミングC言語編【TAC】 基本情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(基本情報 春期 模擬試験)			単位／時間	24時間
開講学科等	情報システム学科 2 年			担当教員	川村 剛久
授業の目的 ・テーマ	基本情報技術者試験本試験相当レベルの問題を解き、各問題に対する解答時間の配分や、現時点での各分野における理解度を確認する。				
授業の 到達目標	基本情報技術者試験合格を目標とする。				
授 業 の 計 画	1	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 1	26	
	2	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 2	27	
	3	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 3	28	
	4	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 4	29	
	5	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 5	30	
	6	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 6	31	
	7	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 7	32	
	8	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 8	33	
	9			34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	模擬試験 実施・自己採点及び確認				
テキスト	無し				
参考文献	無し				
評価の方法 や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の 活かし方					
履修上の 注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 秋期 マネジメント)			単位／時間	24時間
開講学科等	情報システム学科 2 年			担当教員	中川 隆
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題されるマネジメントの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	2h	システム監査概要解説	26	
	2	6h	練習問題（午前問題）	27	
	3	6h	練習問題（プロジェクトマネジメント）	28	
	4	6h	練習問題（ITサービスマネジメント）	29	
	5	4h	練習問題（監査）	30	
	6			31	
	7			32	
	8			33	
	9			34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 秋期 ストラテジ)			単位／時間	20時間
開講学科等	情報システム学科 2 年			担当教員	濱渦 昇
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題されるストラテジの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	1h	キャッシュフロー・財務指標	26	
	2	6h	練習問題（午前問題）	27	
	3	13h	練習問題（経営戦略）	28	
	4			29	
	5			30	
	6			31	
	7			32	
	8			33	
	9			34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 秋期 コンピュータシステム・アーキテクチャ)			単位／時間	38時間
開講学科等	情報システム学科 2 年			担当教員	橋本 貴之
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題されるコンピュータシステム・アーキテクチャの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	2h	練習問題実施・解説 1	26	
	2	2h	練習問題実施・解説 2	27	
	3	2h	練習問題実施・解説 3	28	
	4	2h	練習問題実施・解説 4	29	
	5	2h	練習問題実施・解説 5	30	
	6	2h	練習問題実施・解説 6	31	
	7	2h	練習問題実施・解説 7	32	
	8	2h	練習問題実施・解説 8	33	
	9	3h	過去問題実施・解説 1	34	
	10	3h	過去問題実施・解説 2	35	
	11	3h	過去問題実施・解説 3	36	
	12	3h	過去問題実施・解説 4	37	
	13	3h	過去問題実施・解説 5	38	
	14	3h	過去問題実施・解説 6	39	
	15	2h	過去問題実施・解説 7	40	
	16	2h	過去問題実施・解説 8	41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 秋期 情報システム開発)			単位／時間	22時間
開講学科等	情報システム学科 2 年			担当教員	川久保 あゆみ
授業の目的 ・テーマ	応用情報技術者試験にて出題される情報システム開発の分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の 到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授 業 の 計 画	1	3h	過去問題実施・解説 1	26	
	2	3h	過去問題実施・解説 2	27	
	3	3h	過去問題実施・解説 3	28	
	4	3h	過去問題実施・解説 4	29	
	5	3h	過去問題実施・解説 5	30	
	6	3h	過去問題実施・解説 6	31	
	7	2h	過去問題実施・解説 7	32	
	8	2h	過去問題実施・解説 8	33	
	9			34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法 や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の 活かし方					
履修上の 注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 秋期 組込みシステム開発)			単位／時間	15時間
開講学科等	情報システム学科 2 年			担当教員	橋本 貴之
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題される組込みシステム開発の分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	3h	専門用語解説	26	
	2	2h	過去問題実施・解説 1	27	
	3	2h	過去問題実施・解説 2	28	
	4	2h	過去問題実施・解説 3	29	
	5	2h	過去問題実施・解説 4	30	
	6	2h	過去問題実施・解説 5	31	
	7	2h	過去問題実施・解説 6	32	
	8			33	
	9			34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 秋期 データベース)			単位／時間	37時間
開講学科等	情報システム学科 2 年			担当教員	川村 剛久
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題されるデータベースの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	2h	データベースの基礎	26	
	2	2h	正規化（復習）、非正規化	27	
	3	2h	関係データベースの演算	28	
	4	2h	SELECT文（復習）	29	
	5	2h	CREATE TABLE文	30	
	6	2h	ビューの定義、トリガ	31	
	7	2h	オブジェクトの処理権限	32	
	8	2h	トランザクション制御	33	
	9	2h	DBMSの障害回復管理	34	
	10	2h	分散データベース	35	
	11	2h	データウェアハウス、データマイニング	36	
	12	3h	応用情報過去問題・解説 1	37	
	13	3h	応用情報過去問題・解説 2	38	
	14	3h	応用情報過去問題・解説 3	39	
	15	3h	応用情報過去問題・解説 4	40	
	16	3h	応用情報過去問題・解説 5	41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験過去問問題 情報処理教科書データベーススペシャリスト他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 秋期 アルゴリズム)			単位／時間	44時間
開講学科等	情報システム学科 2 年			担当教員	中川 隆
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題されるアルゴリズムの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	2h	練習問題実施・解説 1	26	
	2	2h	練習問題実施・解説 2	27	
	3	2h	練習問題実施・解説 3	28	
	4	2h	配列処理(文字列) 1	29	
	5	2h	配列処理(文字列) 2	30	
	6	4h	データ構造 1	31	
	7	4h	データ構造 2	32	
	8	2h	データ構造 3	33	
	9	4h	木構造 1	34	
	10	4h	木構造 2	35	
	11	1h	木構造 3	36	
	12	1h	探索処理	37	
	13	2h	ハッシュ法 1	38	
	14	2h	ハッシュ法 2	39	
	15	2h	整列処理 1	40	
	16	2h	応用整列処理 1	41	
	17	2h	応用整列処理 2	42	
	18	2h	応用整列処理 3	43	
	19	2h	応用整列処理 4	44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 秋期 ネットワーク・情報セキュリティ)			単位／時間	37時間
開講学科等	情報システム学科 2年			担当教員	濱渦 昇
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題されるネットワーク・情報セキュリティの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	2h	OSI基本参照モデル・TCP/IPプロトコルスイート	26	
	2	2h	L3SW・ルーティング IP	27	
	3	3h	LAN (IEEE802) L2SW・MAC	28	
	4	2h	HTTP DNS HDCP	29	
	5	2h	SMTP POP IMAP	30	
	6	2h	暗号化 (AES RSA)	31	
	7	2h	デジタル署名 (TLS) PKI	32	
	8	3h	認証方式	33	
	9	3h	ウイルス対策・攻撃手法の種類と対策	34	
	10	2h	本試験過去問題実施・解説 1	35	
	11	2h	本試験過去問題実施・解説 2	36	
	12	2h	本試験過去問題実施・解説 3	37	
	13	2h	本試験過去問題実施・解説 4	38	
	14	2h	本試験過去問題実施・解説 5	39	
	15	2h	本試験過去問題実施・解説 6	40	
	16	2h	本試験過去問題実施・解説 7	41	
	17	2h	本試験過去問題実施・解説 8	42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 秋期 模擬試験)			単位／時間	35時間
開講学科等	情報システム学科 2 年			担当教員	川村 剛久
授業の目的 ・テーマ	応用情報技術者試験本試相当レベルの問題を解き、各問題に対する解答時間の配分や、現時点での各分野における理解度を確認する。				
授業の 到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授 業 の 計 画	1	7h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 1	26	
	2	7h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 2	27	
	3	7h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 3	28	
	4	7h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 4	29	
	5	7h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 5	30	
	6			31	
	7			32	
	8			33	
	9			34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	模擬試験 実施・自己採点及び確認				
テキスト	無し				
参考文献	無し				
評価の方法 や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の 活かし方					
履修上の 注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(基本情報 秋期 情報セキュリティ)			単位／時間	45時間
開講学科等	情報システム学科 2 年			担当教員	濱渦 昇
授業の目的・テーマ	基本情報技術者試験にて出題される情報セキュリティ分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	基本情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	2h	OSI基本参照モデル・TCP/IP・LAN間接続装置	26	
	2	2h	IPアドレス、プロトコル、FW	27	
	3	3h	暗号化とデジタル署名	28	
	4	2h	マルウェア	29	
	5	3h	練習問題実施・解説 1	30	
	6	3h	練習問題実施・解説 2	31	
	7	3h	練習問題実施・解説 3	32	
	8	3h	練習問題実施・解説 4	33	
	9	3h	練習問題実施・解説 5	34	
	10	3h	練習問題実施・解説 6	35	
	11	3h	練習問題実施・解説 7	36	
	12	3h	練習問題実施・解説 8	37	
	13	3h	練習問題実施・解説 9	38	
	14	3h	練習問題実施・解説 10	39	
	15	3h	練習問題実施・解説 11	40	
	16	3h	練習問題実施・解説 12	41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	なし				
参考文献	基本情報技術者試験対策テキストⅡ システムの利用と開発編 基本情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(基本情報 秋期 アルゴリズム)			単位／時間	96時間
開講学科等	情報システム学科 2 年			担当教員	森下 浩二
授業の目的・テーマ	基本情報技術者試験にて出題されるアルゴリズムの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	基本情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	3h	探索処理	26	3h 練習問題実施・解説 16
	2	4h	整列処理	27	3h 練習問題実施・解説 17
	3	4h	文字列操作処理	28	3h 練習問題実施・解説 18
	4	2h	データ構造 1	29	3h 練習問題実施・解説 19
	5	3h	データ構造 2	30	3h 練習問題実施・解説 20
	6	3h	データ構造 3	31	3h 練習問題実施・解説 21
	7	3h	ハッシュ法	32	3h 練習問題実施・解説 22
	8	2h	再帰呼び出し	33	
	9	3h	応用整列処理 1	34	
	10	3h	応用整列処理 2	35	
	11	3h	練習問題実施・解説 1	36	
	12	3h	練習問題実施・解説 2	37	
	13	3h	練習問題実施・解説 3	38	
	14	3h	練習問題実施・解説 4	39	
	15	3h	練習問題実施・解説 5	40	
	16	3h	練習問題実施・解説 6	41	
	17	3h	練習問題実施・解説 7	42	
	18	3h	練習問題実施・解説 8	43	
	19	3h	練習問題実施・解説 9	44	
	20	3h	練習問題実施・解説 10	45	
	21	3h	練習問題実施・解説 11	46	
	22	3h	練習問題実施・解説 12	47	
	23	3h	練習問題実施・解説 13	48	
	24	3h	練習問題実施・解説 14	49	
	25	3h	練習問題実施・解説 15	50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	無し				
参考文献	基本情報技術者試験対策テキストⅣアルゴリズム編【TAC】 基本情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(基本情報 秋期 オブジェクト指向)			単位／時間	32時間
開講学科等	情報システム学科 2 年			担当教員	内藤 正勝
授業の目的・テーマ	基本情報技術者試験にて出題される C 言語の分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	基本情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	1h	オブジェクト指向、オブジェクトとクラス	26	1h 練習問題実施・解説 20
	2	1h	プログラミングの基本	27	1h 練習問題実施・解説 21
	3	1h	オブジェクト配列、メンバ変数	28	1h 練習問題実施・解説 22
	4	1h	複数の数値データ属性をもつクラス	29	1h 練習問題実施・解説 23
	5	1h	データ構造の表現	30	1h 練習問題実施・解説 24
	6	1h	文字列操作のクラス	31	1h 練習問題実施・解説 25
	7	1h	練習問題実施・解説 1	32	1h 練習問題実施・解説 26
	8	1h	練習問題実施・解説 2	33	
	9	1h	練習問題実施・解説 3	34	
	10	1h	練習問題実施・解説 4	35	
	11	1h	練習問題実施・解説 5	36	
	12	1h	練習問題実施・解説 6	37	
	13	1h	練習問題実施・解説 7	38	
	14	1h	練習問題実施・解説 8	39	
	15	1h	練習問題実施・解説 9	40	
	16	1h	練習問題実施・解説 10	41	
	17	1h	練習問題実施・解説 11	42	
	18	1h	練習問題実施・解説 12	43	
	19	1h	練習問題実施・解説 13	44	
	20	1h	練習問題実施・解説 14	45	
	21	1h	練習問題実施・解説 15	46	
	22	1h	練習問題実施・解説 16	47	
	23	1h	練習問題実施・解説 17	48	
	24	1h	練習問題実施・解説 18	49	
	25	1h	練習問題実施・解説 19	50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	なし				
参考文献	基本情報技術者試験対策テキスト V プログラミング C 言語編【TAC】 基本情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目		国家試験対策(基本情報 秋期 模擬試験)			単位／時間		24時間	
開講学科等		情報システム学科 2 年			担当教員		川村 剛久	
授業の目的 ・テーマ		基本情報技術者試験本試相当レベルの問題を解き、各問題に対する解答時間の配分や、現時点での各分野における理解度を確認する。						
授業の 到達目標		基本情報技術者試験合格を目標とする。						
授 業 の 計 画	1	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 1	26				
	2	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 2	27				
	3	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 3	28				
	4	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 4	29				
	5	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 5	30				
	6	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 6	31				
	7	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 7	32				
	8	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 8	33				
	9			34				
	10			35				
	11			36				
	12			37				
	13			38				
	14			39				
	15			40				
	16			41				
	17			42				
	18			43				
	19			44				
	20			45				
	21			46				
	22			47				
	23			48				
	24			49				
	25			50				
授業の方法		模擬試験 実施・自己採点及び確認						
テキスト		無し						
参考文献		無し						
評価の方法 や基準		以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。						
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する								
実務経験								
実務経験の 活かし方								
履修上の 注意事項		理解を深めるために復習を行うこと。						

授業科目	ビジネス実務Ⅱ（担任）			単位／時間	24時間
開講学科等	情報システム学科2年			担当教員	植田 祥平
授業の目的・テーマ	前期には、社会人として仕事をしていく上に最低限必要な知識・マナー・スキルを身に付けさせる。後期では、就職を直前に控えているため社会人として必要な知識・マナーの最終確認を行う。				
授業の到達目標	社会人として以下のスキルを身に付ける。 ・マナー・法令を守った行動ができる。 ・上司・客先に対し、適切な報告ができる。 ・自己管理がしっかりとできる				
授業の計画	1	2h	ビジネスでのマナー（出勤・退勤・遅刻・休暇）	26	
	2	2h	ビジネスでのマナー（スケジュール管理）	27	
	3	2h	ビジネスでのマナー（報告・連絡・相談）	28	
	4	2h	ビジネスでのマナー（メール・電話・SNS）	29	
	5	2h	ビジネスでのマナー（社内文書の書き方）	30	
	6	2h	ビジネスでのマナー（情報セキュリティ）	31	
	7	2h	ビジネスでのマナー（企業コンプライアンス）	32	
	8	2h	ビジネスでのマナー（お金の管理）	33	
	9	1h	ビジネスでのマナー（お客様との付き合い方）	34	
	10	1h	ビジネスでのマナー（会社での人付き合い）	35	
	11	1h	ビジネスでのマナー（出勤・退勤・遅刻・休暇）	36	
	12	1h	ビジネスでのマナー（スケジュール管理）	37	
	13	1h	ビジネスでのマナー（報告・連絡・相談）	38	
	14	1h	ビジネスでのマナー（メール・電話・SNS）	39	
	15	1h	ビジネスでのマナー（社内文書の書き方）	40	
	16	1h	ビジネスでのマナー（情報セキュリティ）	41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義				
テキスト	なし				
参考文献	図解ビジネスでのマナー、就職ハンドブック等				
評価の方法や基準	出席率、授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	就職に向けて社会人としての自覚を強く持たせる。				

授業科目		ビジネス実務Ⅱ（マナー等）			単位／時間			9時間		
開講学科等		情報システム学科2年			担当教員			田中 佳代		
授業の目的・テーマ		・新聞記事から言語化トレーニングを行い、表現力・語彙力を高める。 ・会社で求められる人材とはどんな人かを考える。								
授業の到達目標		・身だしなみ、言葉遣い、態度など、会社で求められる「意識の高い人」について自分の言葉で説明できるようにする。								
授業の計画	1	10/21	1h	マズロー6つ欲求 後期目標（ビジ実） 言語化トレーニング	26					
	2	10/28	1h	自律・他者と自己のコントロール P33-34 聴き方・話し方ファシリテーション/言語化トレーニング	27					
	3	11/4	1h	教養P35-44（礼装・贈答のし 名前書き硬筆） 言語化トレーニング	28					
	4	11/11	1h	教養P136-137, 68-72（11月、封筒書き硬筆） 言語化トレーニング	29					
	5	11/18	1h	教養P49-53（会社）/言語化トレーニング	30					
	6	11/25	1h	教養P74-91（食事のマナー） 言語化トレーニング	31					
	7	12/2	1h	教養P97-106（お酒のマナー） 言語化トレーニング	32					
	8	1/20	1h	教養P108-128（冠婚葬） 言語化トレーニング	33					
	9	1/27	1h	教養P129-132（祭）/後期試験・目標評価	34					
	10				35					
	11				36					
	12				37					
	13				38					
	14				39					
	15				40					
	16				41					
	17				42					
	18				43					
	19				44					
	20				45					
	21				46					
	22				47					
	23				48					
	24				49					
	25				50					
授業の方法		レクチャー・ロールプレイング・グループワーク								
テキスト		日本マナー・プロトコル協会 マナー・プロトコル基礎知識								
参考文献		ウィネット 実践ビジネスマナー / 「デキる人の思考法」KADOKAWA								
評価の方法や基準		出席率・授業態度・身だしなみ・プリント管理、提出物・テスト類 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する								
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する									○	
実務経験		国際線機内におけるお客様対応、予備校校長として生徒指導、職業訓練校において受付・電話応対および生徒の面接指導を担当								
実務経験の活かし方		実体験を交えて説明する								
履修上の注意事項		できなかったことや失敗は隠したり胡麻化したりせず、自身の成長へのツールと捉え、前進することに利用してほしい。								

授業科目	ビジネス実務Ⅱ（Ｂ検）				単位／時間	16時間	
開講学科等	情報システム学科２年				担当教員	岩松 美穂	
授業の目的・テーマ	ビジネスの常識及び基礎的なコミュニケーション、情報の利活用などを身につけ、社会人としての意識付けを行う。						
授業の到達目標	ビジネス能力検定ジョブパス３級全員合格を目標とする。（検定日：７月６日）						
授業の計画	1	2h	5/13	ビジネス能力検定ジョブパス取得の目的と意義 演習問題①ビジネスとコミュニケーションの基本	26		
	2	2h	5/20	演習問題②仕事の実践とビジネスツール	27		
	3	2h	5/27	令和２年度過去問題	28		
	4	2h	6/3	令和３年度過去問題	29		
	5	2h	6/17	令和４年度過去問題	30		
	6	2h	6/24	令和５年度過去問題	31		
	7	2h	7/1	令和６年度過去問題	32		
	8	2h	7/8	ビジネスマナーの基本	33		
	9				34		
	10				35		
	11				36		
	12				37		
	13				38		
	14				39		
	15				40		
	16				41		
	17				42		
	18				43		
	19				44		
	20				45		
	21				46		
	22				47		
	23				48		
	24				49		
	25				50		
授業の方法	講義、演習、実習						
テキスト	ビジネス能力検定ジョブパス３級公式試験問題集						
参考文献	ビジネス能力検定ジョブパス３級公式テキスト、実践ビジネスマナー						
評価の方法や基準	授業態度、演習・過去問点数、検定結果、出席率						
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する							
実務経験							
実務経験の活かし方							
履修上の注意事項	身だしなみや言葉遣い等、学んだ事を実践できるよう心掛ける。						

授業科目		一般常識Ⅱ（文章読解）			単位／時間		16時間	
開講学科等		情報システム学科 2 年			担当教員		橋本 貴之	
授業の目的・テーマ		近年、学生の文章読解力低下が問題になっている。学校で受験する検定や国家試験の問題文をきちんと理解できること、また社会人となった場合でも資料の内容を理解することは仕事にも直結することであるため、文章を読み、その言わんとすることをきちんと理解できることを目指す。						
授業の到達目標		①文章の飛ばし読みをしない。（文章の読み方指導） ②文章をすべて読んだうえで内容を理解し、必要な情報を取捨選択できる						
授業の計画	1	1h	（やさしめ）第一章 基本読解	26				
	2	1h	（やさしめ）第二章 指示読解	27				
	3	1h	（やさしめ）第三章 図表読解	28				
	4	1h	（やさしめ）第四章 論理読解	29				
	5	1h	（やさしめ）第五章 接続読解	30				
	6	2h	第一章 基本読解	31				
	7	2h	第二章 指示読解	32				
	8	2h	第三章 図表読解	33				
	9	2h	第四章 論理読解	34				
	10	2h	第五章 接続読解	35				
	11	1h	練習問題	36				
	12			37				
	13			38				
	14			39				
	15			40				
	16			41				
	17			42				
	18			43				
	19			44				
	20			45				
	21			46				
	22			47				
	23			48				
	24			49				
	25			50				
授業の方法		ドリル演習、解説						
テキスト		なし						
参考文献		2 分で読解力ドリル（ちょっとやさしめ）、2 分で読解力ドリル						
評価の方法や基準		複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。 以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 出席率 2. 授業への取り組み状況						
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する								
実務経験								
実務経験の活かし方								
履修上の注意事項		自分の将来に直結する科目であるため、真剣に受講すること。						

授業科目		一般常識Ⅱ（社会問題）		単位／時間		16時間	
開講学科等		情報システム学科2年		担当教員		橋本 貴之	
授業の目的 ・テーマ		社会人として必要な社会問題の知識を習得させる					
授業の 到達目標		・社会問題に対して日ごろからアンテナを張ることの意義、必要性を理解する。 ・社会問題に対して内容を把握することができる。 ・社会問題に対して自身の持っている情報と考えを相手に正確に伝えることができる。					
授 業 の 計 画	1	2h	問題把握・分析・資料作成 （テーマは授業時の社会問題とする）	26			
	2	2h	問題把握・分析・資料作成 （テーマは授業時の社会問題とする）	27			
	3	2h	問題把握・分析・資料作成 （テーマは授業時の社会問題とする）	28			
	4	2h	問題把握・分析・資料作成 （テーマは授業時の社会問題とする）	29			
	5	2h	問題把握・分析・資料作成 （テーマは授業時の社会問題とする）	30			
	6	2h	問題把握・分析・資料作成 （テーマは授業時の社会問題とする）	31			
	7	2h	問題把握・分析・資料作成 （テーマは授業時の社会問題とする）	32			
	8	2h	問題把握・分析・資料作成 （テーマは授業時の社会問題とする）	33			
	9			34			
	10			35			
	11			36			
	12			37			
	13			38			
	14			39			
	15			40			
	16			41			
	17			42			
	18			43			
	19			44			
	20			45			
	21			46			
	22			47			
	23			48			
	24			49			
	25			50			
授業の方法		講義、実習（課題作成）					
テキスト		なし					
参考文献		なし					
評価の方法 や基準		以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 出席率 2. 授業態度 3. 授業内課題					
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する							
実務経験							
実務経験の 活かし方							
履修上の 注意事項		授業内で課題を行い、理解度を確認していく。					